

「見えているから大丈夫」が一番危険。 大切なもの、見えていますか？

≫ 視野障害のある視界のイメージ ≪

? 視野障害とは？

眼や脳の病気が原因となり、見えているはずの範囲で、一部が欠けたり、ぼやけたり、範囲が狭くなったりする状態。



気がつかないうちに、歩行者・信号・標識などを見落とす危険があります

➡ 前方を見て運転している場合



視野障害の特徴

視野障害があっても、脳の機能によって周りの景色が続いているように見えることがあるため、**自覚しにくく、気がついたときにはかなり進行していることがあります。**

視力は良好な場合が多く、**視野障害に気づかず運転を続け、事故を起こす可能性**があります。



視野障害の危険因子チェック

- ☒ 強度の近視である
- ☒ 血縁者に緑内障・
もうまくしきそへんせい
網膜色素変性の人がある
- ☒ 糖尿病・高血圧と診断されている

視野障害をきたす疾患

👁️ 眼疾患

- りよくないしょう
• 緑内障
- とうによびょうもうまくししょう
• 糖尿病網膜症
- もうまくしきそへんせい
• 網膜色素変性
- 視神経の病気
など

🧠 脳疾患

- のうこうそく
• 脳梗塞
- のうしゅつけつ
• 脳出血
など



安心安全な運転業務を長く続けるために、

視野障害対策

に取り組もう！

視野障害対策には、「眼科検診」の受診が重要です。

- ◆「眼科検診」は、視力検査・眼底検査・眼圧検査を含む眼のスクリーニング検査です。
- ◆ 検診において「精密検査が必要」となった場合には、眼科における詳細な診察が必要です。
- ◆ 検診結果だけでは、直ちに運転業務の可否は判断できませんので、慎重に判断する必要があります。
- ◆ 一定の条件を満たす運送事業者を対象に、眼科検診の受診に対する国の補助制度があります。



「精密検査が必要」となった場合、特に注意をしていただきたい医師のコメント



視神経乳頭陥凹拡大、網膜神経線維層(束)欠損、乳頭出血

眼底検査の結果、緑内障が疑われる場合のコメントです。



眼圧が高い

眼圧検査の結果、眼圧が高く、緑内障が疑われる場合のコメントです。眼圧が高いまま放置していると、緑内障になったり、すでに緑内障になっている場合は、急速に視野障害が進行する場合があります。



網膜出血（眼底出血）

眼底検査の結果、網膜の疾患（糖尿病網膜症、網膜中心静脈閉塞症、高血圧眼底、加齢黄斑変性など）が疑われる場合のコメントです。網膜の疾患を放置すると、視力が低下したり、視野障害をきたしたり、さらに放置すると失明してしまうこともあります。



視野障害の原因となる病気を早期発見・早期治療することにより運転寿命を伸ばすことにつながります。



気付かないまま病気を放置して進行した場合、運転中に大切なものを見落とし、事故につながるおそれがあります。



視力検査だけでは病気の早期発見はできません。定期的に眼科検診を受けましょう。



精密検査を勧められた場合は必ず受診し、自分の眼の状態を把握しましょう。

さらに詳しい情報はこちらから▶

自動車運送事業者における視野障害対策マニュアル



https://www.mlit.go.jp/jidosha/anzen/03manual/data/visual_field_impairment_manual.pdf

